

【第5学年 単元「花から実へ」】

ミクロの世界へゴー！

ねらい：顕微鏡を自由に使いこなすことは、子どもたちにはなかなか難しいようです。しかし、6年間のうちで顕微鏡が使えるのは、このときだけです。子どもに小さな世界の不思議を体験させ、驚きや感動を味合わせたいですね。

顕微鏡の基本的な使い方

①一番低い倍率にします。

探すところの大体の見当をつけるには、低い倍率で広い視野にして行います。

②明るさを調節します。

小学校では多くの場合が鏡の角度で明るさを調節するタイプの顕微鏡を使っています。明るさを求めますが、直接日光が当たるところには置かせないでください。太陽光線が目には直接入り危険です。

③プレパラートをおきとめ具で固定します。

④横から見ながらねじを回して、対物レンズとプレパラートがぶつからない程度に近づけます。

横から見ずに操作すると、プレパラートを破損したり、レンズを汚したりする恐れがあります。子どもには十分注意させてください。

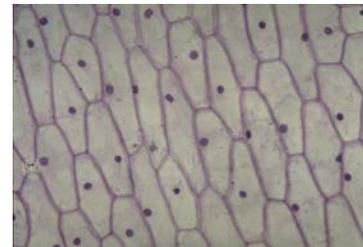
準備 顕微鏡 プレパラート 植物の花粉（本単元で使います。） そまねぎ、ムラサキツユクサ）なども見やすく、子供も喜びます。

⑤のぞきながら、対物レンズとプレパラートの間を広げていき、ピントを合わせます。

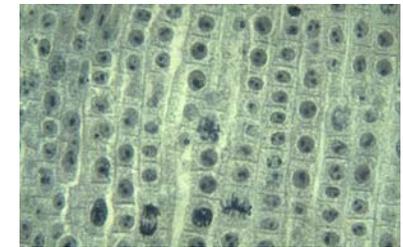
子供はこの微調節が苦手です。ゆっくり行わせてください。

⑥プレパラートを動かして見たいものを探す。

上下左右の移動が見え方と実際と逆になるこの作業は、子どもは苦手です。この調節もゆっくりやるように指示を出してください。また、観察するときは、右利きの子は左目で、左利きの子は右目でみて、反対の目でノートを見ながら、記録をとることができるということです。



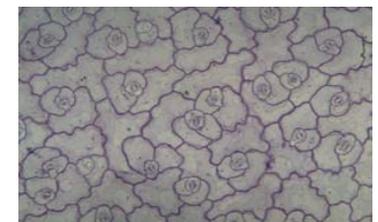
たまねぎの表皮細胞



たまねぎの根の細胞分裂



ミカヅキモ



ムラサキツユクサの葉の表皮細胞

れ以外にプール掃除前のプールの水、池や川の水、植物の表皮（た

